



第11回ふくしま学(楽)会

ふくしまから伝えたいこと、 知らなければいけないこと。

2011年3月の東日本大震災・福島原発事故から12年を迎えます。2023年度は、1F（福島第一原子力発電所）2号機からの燃料デブリの試験取出しが試みられ、福島復興の基本理念・創造的復興の中核拠点である福島国際研究教育機構（F-REI）の浪江町における一部開所が予定されています。

2017年5月に開所した早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンターは、長期的・広域的な視点から福島原子力災害からの地域再生について調査研究をしてきました。2019年1月には、2050年の持続可能な福島浜通り地域の構築に向けた「ふくしま浜通り社会イノベーション・イニシアティブ構想（SI構想）」を提案し、（1）1F廃炉の先研究会：1F廃炉の将来像と1F廃炉プロセスの地域資源化の調査研究や1F地域塾の開催、（2）創造的復興研究会：社会イノベーションを核とした創造的復興による持続可能な浜通り地域の将来像の調査研究という2つの研究会活動を展開しています。

こうした研究活動と並行し、世代を超えて、地域を超えて、分野を超えて、福島復興と廃炉について共に考える「対話の場」として「ふくしま学（楽）会」を10回開催し、ふたば未来学園の中学生・高校生や地域社会、NPO・地域組織、国や地方行政、大学・研究機関などの多様な人々による「対話の場」＝「学びの場」を形成し、展開してきました。

第11回ふくしま学（楽）会では「創造的復興とは何か？：福島浜通りで働くということ」をテーマに、福島復興の基本理念である創造的復興とは何かについて深く考え、大いに議論したいと思います。

なお、第11回ふくしま学（楽）会において、早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンターは、当初からのミッションである広域的・長期的な観点から福島復興と廃炉を調査研究するという目標に到達するため、「早稲田大学ふくしま浜通り未来創造リサーチセンター」へ名称を変更します。

日時: 2023年1月29日（日）13:00 - 18:00

会場: Zoom ミーティング+福島県大熊町 Link る大熊会場（登壇者のみ）

参加登録: 参加申込みは以下のWebサイトから行ってください（QRコードでもアクセスできます）。<https://forms.gle/cHpMYKb8gan1DVVU7>

主催: 早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター・
早稲田大学レジリエンス研究所（WRII）

共催: 福島県広野町

後援: 福島イノベーション・コースト構想推進機構（予）、双葉地方町村会
早稲田大学アジア太平洋研究センター（WIAPS）
早稲田大学環境総合研究センター（WERI）

問合せ先: 0240-27-1251 福島県広野町復興企画課 担当: 大和田
03-5292-3526 早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター事務局
e-mail jyuten-fukkou@list.waseda.jp 早稲田大学レジリエンス研究所（WRII）

<http://www.waseda.jp/prj-matsuoka311/>



*本事業は、福島イノベーション・コースト構想推進機構・2022年度大学等の復興知を活用した人材育成基盤構築事業により実施しています。
(プログラムの詳細は裏面にあります)





総合司会：阿部加奈子（福島県広野町役場）

開会挨拶：13:00-13:20

吉田 淳（福島県大熊町・町長）

遠藤 智（福島県広野町・町長）

中嶋聖雄（早稲田大学大学院アジア太平洋研究科・研究科長、早稲田大学アジア太平洋研究センター・所長）

小野田弘士（早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科・研究科長、早稲田大学環境総合研究センター・所長）

13:20-15:20：パネル「創造的復興とは何か？：福島浜通りで働くということ」

13:20-13:40：高橋洋充（福島県立福島東高等学校・教諭、浪江町出身）

「創造的復興と福島浜通りで働くということ」

13:40-14:10：遠藤秀文（株式会社ふたば社長、富岡町）

鈴木彩香（株式会社ふたば社員、北海道出身）

細川順一郎（とみおかワインドメニュー・総括リーダー、山梨県から移住）

「福島で働くということ、事業を行うということ」

14:10-14:30：佐藤志保（ふたば未来学園高等学校2年・未来創造探究ゼミ）

「なぜ海洋放出に反対運動が起こるのか？：創造的復興を考える」

14:30-14:50：討論者

木村紀夫（大熊未来塾、大熊町）

木全洋一郎（国際協力機構 JICA 北海道（帯広）・代表）

島田 剛（明治大学・准教授、創造的復興研究会・経済班主査）

辻 岳史（国立環境研究所福島拠点・主任研究員、創造的復興研究会・社会班主査）

14:50-15:20：質疑と議論

（休憩 10分）

15:30-16:40：グループ討論(6 グループ)

司会（早稲田大学学生）：朱 鈺（アジア太平洋研究科・博士課程）、松川希映（アジア太平洋研究科・修士課程）、高垣慶太（社会科学部2年）、永井 敦（先進理工学部4年）、横山景一（文化構想学部3年）、豊澤多聞（文化構想学部3年）

（休憩 10分）

16:50-17:50：統括セッション：グループ報告と総合討論

司 会：菅波香織（未来会議事務局長・弁護士、いわき市）

討論者：横山和毅（カタリバ、ふたば未来学園、広野町）（グループ討論・報告）

南郷市兵（ふたば未来学園・副校長、広野町）（グループ討論・報告）

高橋洋充（福島県立福島東高等学校・教諭、浪江町出身）（グループ討論・報告）

遠藤秀文（株式会社ふたば社長、富岡町）

鈴木彩香（株式会社ふたば社員、北海道出身）

細川順一郎（とみおかワインドメニュー・総括リーダー）

佐藤志保（ふたば未来学園高等学校2年）

木村紀夫（大熊未来塾、大熊町）

木全洋一郎（国際協力機構 JICA 北海道（帯広）・代表）（グループ討論・報告）

島田 剛（明治大学・准教授）（グループ討論・報告）

辻 岳史（国立環境研究所福島拠点・主任研究員）（グループ討論・報告）

閉会挨拶：17:50-18:00

松岡俊二（早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター・センター長、早稲田大学レジリエンス研究所・所長、早稲田大学大学院アジア太平洋研究科・教授）

